



平成26年11月7日

各位

上場会社名 浜井産業株式会社
 代表者 代表取締役社長 武藤 公明
 (コード番号 6131)
 問合せ先責任者 取締役管理担当 山畑 喜義
 (TEL 03-3491-0131)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月15日及び平成26年8月29日に公表した業績予想ならびに平成26年5月15日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,900	330	300	260	8.02
今回修正予想(B)	3,788	394	361	342	10.55
増減額(B-A)	△112	64	61	82	
増減率(%)	△2.9	19.6	20.5	31.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	1,762	△176	△196	△225	△6.96

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,500	530	480	430	13.26
今回修正予想(B)	7,000	520	470	430	12.85
増減額(B-A)	△1,500	△10	△10	—	
増減率(%)	△17.6	△1.9	△2.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	4,454	△118	△153	△874	△26.96

平成27年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,890	295	255	7.86
今回修正予想(B)	3,780	346	329	10.15
増減額(B-A)	△110	51	74	
増減率(%)	△2.8	17.4	29.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	1,756	△188	△219	△6.77

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,420	470	420	12.95
今回修正予想(B)	6,980	450	420	12.55
増減額(B-A)	△1,440	△20	—	
増減率(%)	△17.1	△4.3	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	4,435	△139	△863	△26.61

修正の理由

当社グループの主力製品でありますラップ盤につきまして、平成26年8月29日に公表させていただきましたように、前連結会計年度に受注したスマートフォン関連部品加工用装置の出荷スケジュールが、お客様の要望により下半期にずれ込む見通しとなったため、第2四半期(累計)の売上高を修正いたしました。当第2四半期(累計)につきましては、売上高は予想比未達であったものの、利益水準については、生産工程の効率化を中心とした原価低減諸施策が効を奏し、予想比大幅増の見込みとなりました。

しかしながら、下半期につきましては、受注を予定していた大口案件の発注時期が遅れており、現状未確定な要因があるものの、今期中の出荷・売上計上が難しいと見込まれる状況となりました。

そこで、売上高の予想を主に通期業績予想の修正をさせていただきます。

なお、引き続き、ラップ盤のほか、ホブ盤及びフライス盤の新製品を積極的に販売展開し、受注の拡大に一層の注力をはかってまいります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成26年5月15日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (平成26年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

修正の理由

上記の業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ではございますが、第2四半期末及び期末の配当金につきましては、見送りの予想とさせていただきます。

引き続き業績の回復に全社を挙げて取り組み、早期の復配を目指してまいります。

(注)本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上